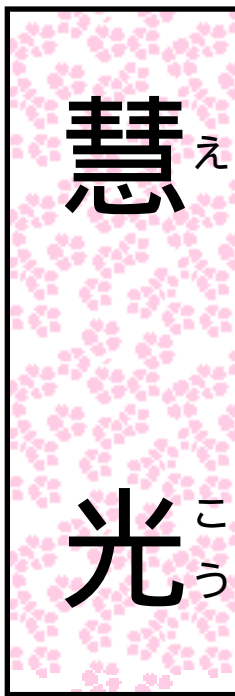




くにひる そら 國広 昊夢くん、ご両親・おばあさんと初参式 (5月13日撮影)



金光寺寺報  
第192号  
発行所 金光寺  
宮崎県西臼杵郡  
五ヶ瀬町大字鞍岡  
5927番地  
0982  
83-2338

今月法語カレンダーのことは

みだ え こうじょうじゆ 彌陀の回向成就して おうそう げんそう 往相・還相ふたつなり

今月のことは、親鸞聖人の『高僧和讃』の一首です。浄土往生について、それが阿弥陀さまのはたらきである他力によって私たちに恵まれているのだということ、曇鸞大師の『往生論註』などのお言葉を通してお示し下さっています。

私たちは阿弥陀さまのはたらきによって、浄土に往生して仏さまになることができるのです。そして、迷いの世界に還って縁のある方々を救う活動をします。この往相(浄土に往く様子)と還相(浄土から還ってくる様子)とを、ともに阿弥陀さまから恵まれるのです。

阿弥陀さまからたまわること本願力回向といひます。回向とは、回はめぐらす、向はさしむけることで、自分のおさめた善行の功德を他にふりむけることをいひます。他のご宗旨で厳

しい修行をしたり、滝に打たれるなどの荒行をするのも、何も体を鍛えたり、水に強くなるのが目的ではないでしょう。行によって身心に得られた鍛錬を、さとりを開くためにふりむけ役立たせる。それを自力回向といひます。

浄土真宗では、阿弥陀さまが本願力をもって、その功德を私にふりむけることを回向といひます。阿弥陀さまが本願のはたらきとして、南無阿弥陀仏にその功德のすべてを込めて私たち衆生にふりむけてくださっているのです。それを他力回向、本願力回向といひます。仏さまとなった先人の願いに導かれて、阿弥陀さまのはたらきによって私も浄土へ参る身であることをしっかりと受けとめさせていただき、歩んでまいりたいと思ひます。

(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き、仏事は行いません。ご協力をお願いします。

- 6月 24日(土) 午後 終日
25日(日) 終日
8月 5日(土) 終日
9月 2日(土) 午後3日(日) 終日
14日(木) 終日
27日(水) 午後
10月 21日(土) 午後 ~ 22日(日)

5月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2017年 5月12日寂 満93歳
協和 青井 加江 様

ホームページ開いています。
URL http://konkhoji.jp/
6月7日現在 アクセス数 79,176人

六月に入りました。普段着の衣替えをしたのですが、暖かくなりませんので、冬物の衣類はたたんで畳の上に積み、二枚ほどを着回ししています。法衣は夏物に替え、冬物はクリーニングに出しました。早く、気温が上がるのいいのに！ 天気のみ、八月は昨年以上の猛暑になるのではと云ってまます。これまた困ったものですね。暖かくなつて欲しいし、暖かすぎるのはいやだし。本当にわがままなものです。もう一つ嫌なことがあります。気温が上がると仏華のいたみが早くなります。冬場は水替えしなくてもひと月は持つていたのに、これからは、毎朝夕、水替えをしても十日間ほどしか持ちません。朝夕の仕事が増えるばかりです。暖かくなつて欲しいが、暖かすぎるのもイヤ。自己中心、これが人間の性(さが)なので、しようがないといえましょう。ようがなし、いいのになと思うこと達。観できないから凡夫なのでしょ

(住職 松井卓郎)

仏教用語豆辞典

不思議

「不思議な事件だね」「不思議は、七不思議」など、不思議は、思いはかられないこと、いぶかしいこと、あやしいことや奇怪という意味の日常語です。

現代人は、合理的理解の及ばないものが多いので、不思議というときには、異様なものという思いが先立つようすです。しかし、人智を越えたものには、もっと謙虚になるべきですよ。「不思議」は、もともと、「不可思議」の略です。言葉で言い表わしたり、心でおしはかることのできないことをいい、仏のさとり、智慧や誓願などの形容に用いる語で、仏典には、しばしば登場します。阿弥陀仏を不可思議光仏というのをはじめ、『歎異抄』には

「弥陀の誓願不思議に」とか「不可称不可説不可思議の故」とあるなど、その用語例は数多く見受けられます。「高僧和讃」にもあります。いつつの不思議をとくなくに仏法不思議にしくぞなき 弥陀の弘誓になづけたり (本願寺出版社発行 辻本敬順著 仏教用語豆辞典一〇〇 PART 一から)

住職ひとりごと

# 小慈小悲もなき身にて

ここ十数年来、左上腕部に痛みとしびれがありました。何とか我慢をしていたのですが、散髪に行き、ヒゲ剃りのためイスを倒されるとだんだん痛みが激しくなり、本年一月ごろからどうにも我慢ができなくなりました。

蘇陽病院整形外科で診察を受けたところ、頸椎の四番目と五番目にヘルニアがあり、そのヘルニアが神経を刺激しているため、左上腕部に痛みとしびれが発生しているとの診断。リハビリを受けることになり、足しげく病院を訪れると様々な人間模様が見れます。深刻な表情で診察を待つ方、楽しそうに(楽しそうに治療を受けていらつしやらないのかもしれません)リハビリを受けられる方、診察が長引きイライラしている方などなど。

そういえば、坊守が義母と蘇陽病院で診察を待っていたところ、その日は診察が長引いていたそうです。そこへ救急車が着きました。当然、急患を先に診察しますので、待っている方は後回し、さらに診察が遅れます。すると、待っているある方が次のような言葉を発せられたそうです。

「また、遅るる。困ったもんじゃ」  
その待合室には救急車で搬送された方の付き添い者もいらつしやつたそうです。その方々の心境も考えず、自分中心の発言ですよ。ところで、仏教は「拔苦与楽」の教えと言われます。仏さまは慈悲の心をもって私たちから苦を抜き、楽をあたえてくださいます。慈悲の「慈」は与楽、「悲」は抜苦の心です。慈悲には三種類あります。

「小慈小悲」「中慈中悲」「大慈大悲」の三種類。

小慈小悲はくくりの小さな慈悲、中慈中悲は小慈小悲よりくくりが大きい慈悲、大慈大悲はくくりがない慈悲。仏さまの慈悲はすべての人を救うのですからくくりのない大慈大悲です。私たちは親子・兄弟などごく身近なものに対しては慈悲の心を持つことができますが、すべての人に対しての慈悲の心は持てません。



だから先ほどのような言葉が出るのです。

(原文)  
小慈小悲もなき身にて  
有情利益はおもふまじ  
如来の願船いまさずは  
苦海をいかでかわたるべき  
(現代語)

わずかばかりの慈悲さえもたないこの身であり、あらゆるものを救うことなど思えるはずもない。阿彌陀仏の本願の船がなかったなら、苦しみ満ちた迷いの海をどうして渡ることができるであろう。  
右の和讃で親鸞聖人は我が身には小慈小悲もないと心の内を吐露されています。しかし、地獄行き必定の身が阿彌陀さまの本願の船に助けられ、苦しい迷いの海を渡って、お浄土へ救われるとお示しく下さいました。  
私たちも同じ身であります。娑婆にあっては老・病・死の苦しみから逃れることはできませんが、その苦が縁で阿彌陀さまのお慈悲に出遇わさせていただきますのです。

# 法語の世界

〈原文〉

人に仏法のことを申してよろこばれば、われはそのよろこぶ人よりもなほたふとく思ふべきなり。仏智をつたへまうすによりて、かやうに存ぜられ候ふことと思ひて、仏智の御方をありがたく存ぜらるべしとの義に候ふ。

(蓮如上人御一代記聞書 二百七)

〈現代語訳〉

「人に仏法の話をして、相手の人が喜んだときは、自分はその相手の人よりも、もっと喜んで尊いことだと思ふべきである。仏の智慧をお伝えするからこそ、このように人が喜ぶのだと受けとめて、仏の智慧のおはたらきをありがたく思いなさい」と、蓮如上人はお示しく下さいました。



## 第三十七回高千穂組仏教女性の集いのご案内

日時 六月二十五日(日) 午前九時三十分  
会場 五ヶ瀬町民センター  
ご講師 浄土真宗本願寺派布教使 大分教区大海組妙蓮寺副住職 蓮谷 啓介 師  
法題 「聞かせたいとお慈悲とどいて」  
参加費 千三百円  
その他 参加希望者は参加費を添えて、各区の支部長さんへお申し込みください。

## 初盆会の日程について

毎年、初盆会にご連絡を頂いた順に日程を決めています。本年初盆をお迎えするお宅で、時間を決めて法要後のお齋をお考えのところは早目にご連絡ください。

なお、下記は日程が決まっています。  
記  
8月13日 10時、11時、12時、13時、14時  
8月14日 10時、11時、12時、13時、15時